

Yakult

兵庫ヤクルト

【自己紹介】

兵庫ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長 阿部 恭大

【学歴】

2013年 甲南大学マネジメント創造学部 卒業

2018年 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了

【経歴】

2013 年 兵庫ヤクルト販売株式会社 入社

2013 年 株式会社ヤクルト本社 出向

2021 年 兵庫ヤクルト販売株式会社 常務取締役 就任

2023 年 兵庫ヤクルト販売株式会社 代表取締役社長 就任



会社概要

社名	兵庫ヤクルト販売株式会社
代表者	代表取締役会長 阿部 泰久 代表取締役社長 阿部 恭大
所在地	本社：神戸市西区玉津町高津橋 1 3 7 - 1 支店：加東市喜田 1 丁目 1 - 2
売上高	60.2億円（2023年度実績）
決算日	11月末
資本金	5,000万円
社員数	221名（正社員 159名 / パート 62名）



ヤクルトの原点

健康への情熱、発想「世界の人々の健康を守りたい」

創始者・代田 稔の飽くなき探究心は、今も脈々と受け継がれています



代田 稔（シロタ ミノル）

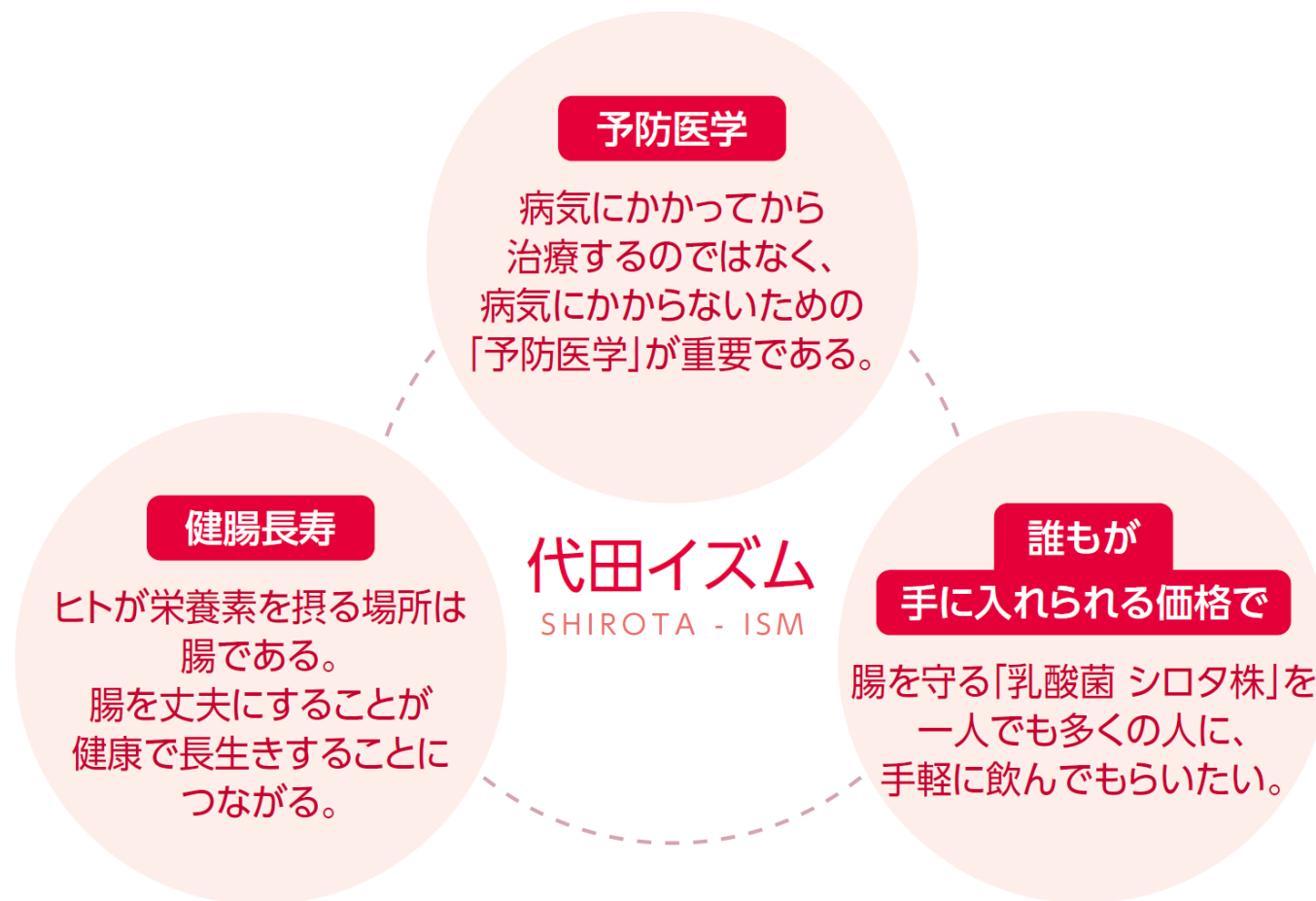
1899～1982

医学博士

株式会社ヤクルト本社

元代表取締役会長兼中央研究所所長

生涯を腸内菌の研究と予防医学の普及に捧げ、
1982年、82歳で生涯を閉じる。



Vision

健康お役立ち おもてなし企業

「地域を一番大切にする会社」を実践し「地域から一番大切にしたい会社」と言われる会社を目標とし、兵庫一の感動とおもてなしをサービス出来る会社を目指します。



担当エリア

神戸市 明石市 播磨町 稲美町 加古川市 高砂市 姫路市
三木市 小野市 加東市 加西市 西脇市 多可町
※神戸市（中央区 兵庫区 長田区 須磨区 垂水区 西区）姫路市（一部）

10市3町

※兵庫県の推計人口530万人の内

「ヤクルトレディ」による訪問販売を中心に、「乳製品」「化粧品」「健康食品」お届けしています



健康情報

美容情報

地域情報

乳製品



清涼飲料



健康食品



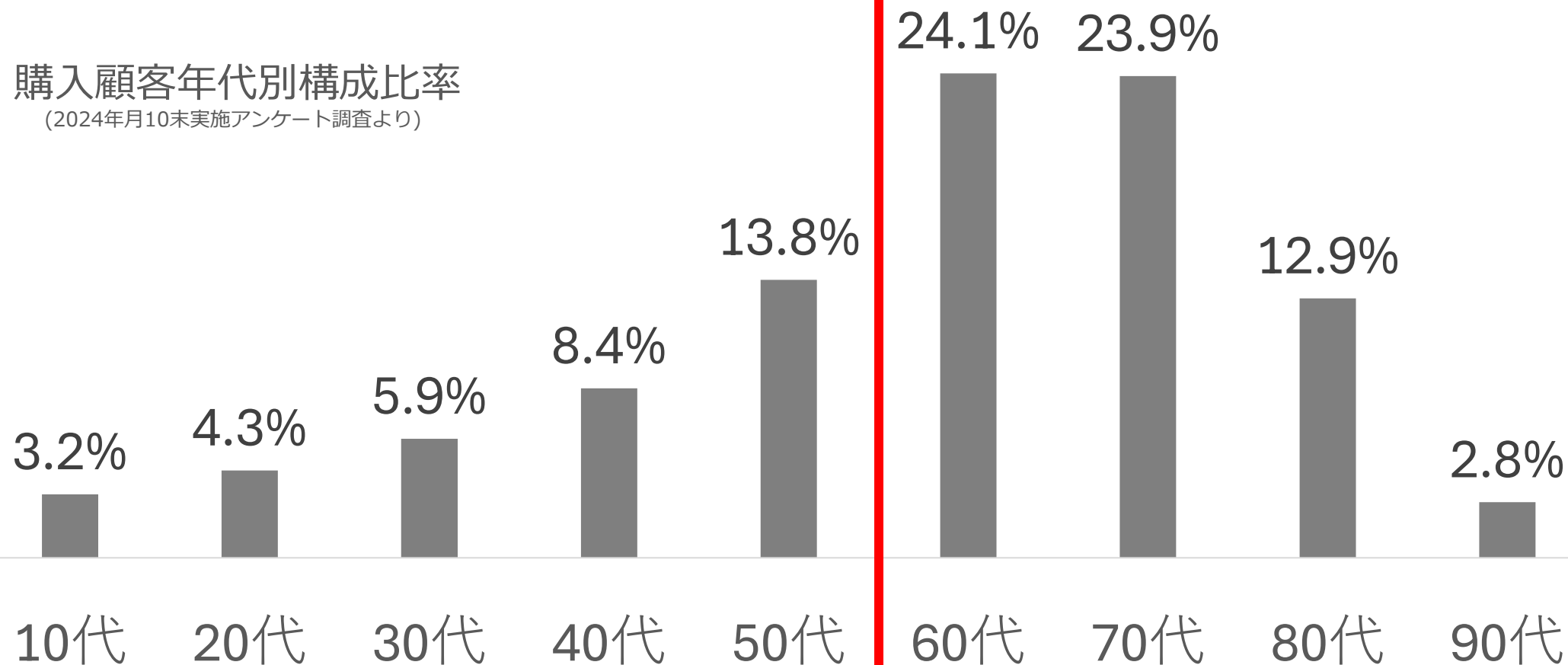
化粧品



宅配顧客との対面は3/4（対面率75%）

購入顧客年代別構成比率

(2024年月10末実施アンケート調査より)



【事例】 社会貢献活動



「敬老の日のお祝い」 75歳以上のお客さまへ
りんどうのお花をお渡し
(2014年からスタートし10年目)



兵庫県神戸西警察署 特殊詐欺撲滅宣言



垂水警察署より防犯活動協力

「10市3町」

締結

※神戸市環境局さまとは事業連携協定

未締結

神戸市 明石市 加古川市 高砂市 小野市
加西市 加東市 稲美町



11

地域包括連携協定の推進



2024年1月22日 神戸市環境局と事業連携協定締結



2024年4月26日 播磨町と包括協定締結



2024年2月15日 三木市と包括協定締結



2024年8月23日 西脇市と包括協定締結

【事例】 | 西脇市との包括連携協定内容

「健幸都市・にしわき」の実現を共に目指すため



Yakult
兵庫ヤクルト



2024年8月23日締結

▼西脇市との連携協定事項

- (1) 地域社会の安全・安心の確保
- (2) 健康の維持・増進
- (3) 子育て支援・教育
- (4) その他地方創生に資する活性化及び地域課題の解決並びにSDGsの推進

（１）地域社会の安全・安心の確保に関すること。

☑ ヤクルトレディを通じた

・ 高齢者等の訪問・見守り活動

・ 認知症サポーターとしての活動（養成講座受講）

・ 西脇ハーティネス・メンバーズの登録（こどもの見守り・支援活動）



※実績

福祉車両の寄贈（2008・2021年に市社会協議会）



配達訪問時のお声掛け



認知症サポーター養成講座の受講

（2）健康の維持・増進に関すること。

- ☑ ヤクルトレディを通じた
 - ・ 健幸運動教室、まちぐるみ健診の勧奨
 - ・ 健幸アンバサダーとしての活動（養成講座受講）
- ☑ 「食育」など健康関連セミナー・出前講座の開催
- ☑ 健康関連イベントへの出展・協賛



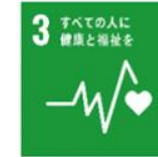
健康セミナーの開催



健康関連イベントの出展

（3）子育て支援・教育に関すること。

- ☑ 学校園・こどもプラザでの食育に関する出前講座（おなか元気教室）
- ☑ こどもプラザでの親子料理教室の開催（腸活クッキング）
- ☑ ヤクルト兵庫三木工場の見学会（親子対象・市制20周年記念事業企画）
- ☑ 職業体験学習の推進（トライやるウィークへの協力）



こども向けの出前講座



工場見学

（４）その他地方創生に資する活性化及び地域課題の解決並びにSDG sの推進に関すること。

- ☑ 市制20周年記念事業・地域イベントへの支援・協力
- ☑ 食品ロスの削減、フードドライブの推進・協力
- ☑ 市パンフレット等の配架・配布
- ☑ 行政情報の発信協力



イベント開催の協力



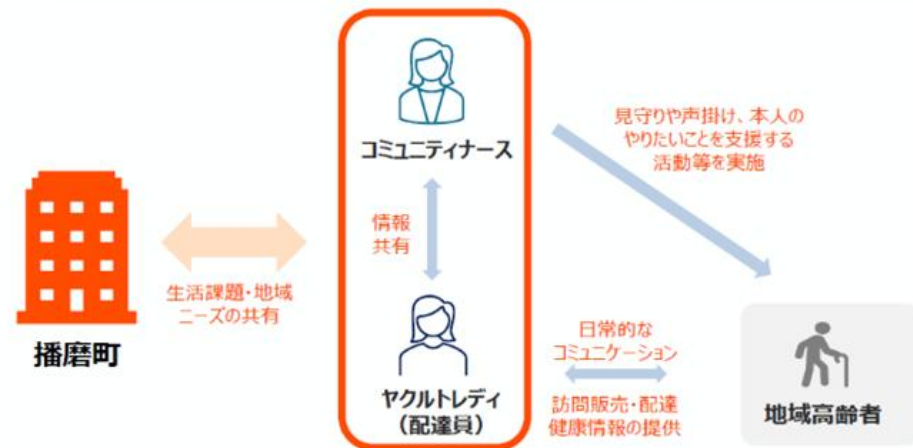
フードドライブの推進

（参考）自治体と民間事業者との連携①（経産省による今年度調査事業）

兵庫ヤクルト販売株式会社と自治体との連携/兵庫県播磨町

- 兵庫ヤクルト販売株式会社（以下、兵庫ヤクルト）では、地域単位に存在するヤクルトレディが高齢者含む地域住民に宅配等を行いながら、健康に関する情報を案内している。また、株式会社CNCと連携し、1名コミュニティナースを配置、地域の健康づくりに向けた取組を行っている。
- 今年度の調査事業は、兵庫ヤクルトが収集している地域の生活課題・ニーズの活用可能性を検討し、民間企業が生活支援コーディネーター等のサポート役を担うことの効果や課題を整理すること、および他地域・他業種への横展開の可能性を検討することを目的に実施した。

兵庫ヤクルト×播磨町 事業概要



兵庫ヤクルトでは、ヤクルトレディが高齢者含む地域住民に宅配等を行いながら得た、地域住民の生活面の不安や生活の希望等に関する情報をコミュニティナースと連携し、必要に応じて見守りや声掛け、趣味等本人のやりたいことを支援する活動を行っている。これらの取組を通じて得た地域課題・ニーズを自治体と共有することでよりよい打ち手の検討に繋がることを期待している。

※株式会社CNCが推進する「コミュニティナース」とは、日常の暮らしのなかで、職業や資格ではなく、地域の人の暮らしの身近なところで『毎日の嬉しいや楽しい』『心と身体の健康と安心』をまちの人と一緒ににつくっていく実践のあり方。

（参考：株式会社CNCホームページ）<https://cncinc.jp/>

調査内容

背景

- 一部の民間企業では、要介護認定前の地域高齢者のニーズや生活上の困りごとを検知しているが、それらの情報を自治体に伝える仕組みや、自社が持つ多様な民間サービスの情報を高齢者に伝える機会が無い。
- 地域の高齢者のニーズを踏まえた多様なサービスの活用に向けて、各自治体の生活支援コーディネーターにおいては、住民ニーズと社会資源（民間サービス等も含む）とのマッチング機能が求められるが、通いの場の構築や公的サービスとのマッチング業務が中心となっている可能性がある。
- 一部の自治体では、地域の高齢者が利用できる民間サービスの一覧化等が行われているが、現状一覧化したサービスを高齢者に紹介する仲介役が限られており、高齢者には民間サービスの情報が届きにくい。

目的

- 民間企業が生活支援コーディネーター等のサポート役を担うことの効果や課題を整理すること。
- 本モデルが持続的な事業活動として他地域・他業種への展開が可能なものとなり得るか、ビジネスモデル等の観点から検証を行うこと。

Yakult

兵庫ヤクルト

「孤独・孤立」 予防の推進

5. 「孤独・孤立」予防の推進

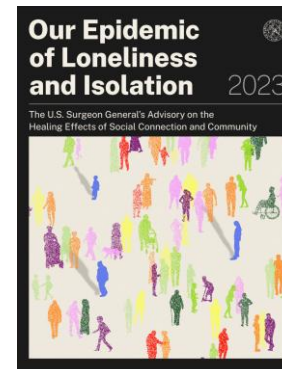
孤独・孤立の健康への悪影響は、 1日15本の喫煙にも相当する。

“社会的つながりが乏しいあるいは不十分な状態は、心臓病のリスクを29%、脳卒中のリスクを32%増加させ、不安、うつ病、認知症、呼吸器系疾患、ウイルス感染のリスクも高めるという研究結果が、同レポートには引用されている。”

Forbes JAPAN記事より抜粋



米国公衆衛生局長官のビベック・マーシー
2023年10月10日の世界メンタルヘルスデー祭典にて (Getty Images)



[「Our Epidemic of Loneliness and Isolation」](#)

(私たちの孤独と孤立の蔓延)





**国際交流基金(The Japan Foundation)
日米グローバル・パートナーシップ強化助成
孤独・孤立の予防に向けた日米間の学び合いと実装
2024/10/14-18 【アメリカLA視察】**

視察の目的

■目的

- ・ 「つながりづくりを通じた孤独・孤立の予防」にビジネスとして取り組む米国企業や、団体の実践を理解し、**クロスセクター連携による孤独・孤立の予防事業を手掛ける上での理論を学ぶ**
- ・ **日本におけるクロスセクター連携を通じた新たな孤独・孤立の予防に資する取組の検討・実装**につなげるとともに、米国プレイヤーとの連携可能性を模索する

日本における課題感・重要なテーマ	米国からの学びポイント
つながりの希薄化対策 地域コミュニティの再生	・ NPOや企業によるつながりづくりを通じた孤独・孤立の予防事例 ・ 取り組みを通じてどのように地域コミュニティを形成しているか
官民連携の推進	・ 地方政府（ロサンゼルス郡）における孤独・孤立対策に関する政策動向 ・ 行政とNPOと企業の連携事例・役割分担 ・ 孤独・孤立対策の機運醸成に向けた取組の事例
インパクトの創出/ 効果の可視化	・ どのようにして取り組みにおけるインパクトを測定しているか ・ Evidence Based Program/Business Developmentの手法はどのようなものなのか ・ ビジネスモデルをどのように構築しているのか
テクノロジーの活用	・ 取り組みの推進にテクノロジーがどのように活用されているのか

訪問先団体② 10/17：Social Isolation Impact Coalition (官民連携プラットフォーム)

< 団体概要 >

- 西海岸最大の官民連携 孤独孤立×Collective Impactネットワーク

< 視察概要 >

- プラットフォームのMissionや設立背景・活動内容、及び、LAにて実装されている以下団体/プログラムについて学ぶ
 - Los Angeles County Aging and Disabilities Department (行政/郡)
高齢者や障がい者などを主たる対象にLA郡として孤独・孤立対策の取り組みを支援・推進
 - ONEgeneration (NPO)
高齢者(デイケア)と幼稚園児における社会的な交流・つながりを創出する世代間交流プログラム
 - 211 LA (NPO)
電話を活用した地域資源とのレファラルサービス、LA全土で展開
 - California Volunteers - Six Neighbors Program (州事務所)
「#Meet6Neighbors (#6人の隣人と知り合おう)」をテーマとした地域住民間のつながり創出キャンペーン
 - City of Los Angeles Department of Aging - LA County SOS Program (行政/市)
電話を活用した高齢者の見守りプログラム
 - Office of the U.S. Surgeon General (行政)
メンタルヘルス、孤独や孤立、職場のウェルビーイングなど、公衆衛生上の優先課題に寄与する活動を推進



ヤクルトレディは「75%」のお客さまと対面



“強み”はお客様の些細な
変化を検知・感知

1億総相互扶助社会の実現に向けて

Yakult
兵庫ヤクルト

×

CNC



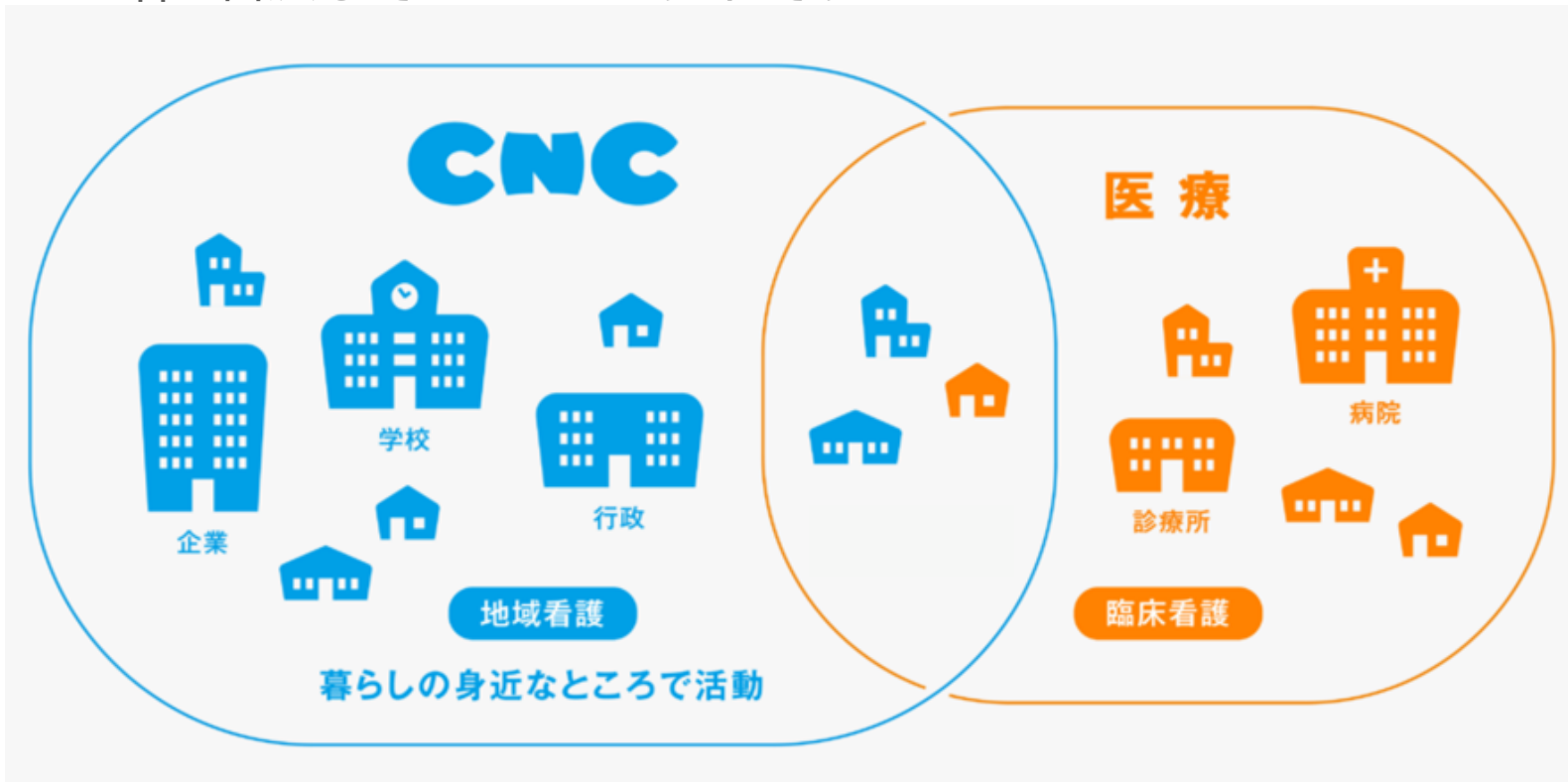
「心身社会の健康づくり」
「人とつながり、まちを元気に」

※

コミュニティナースとは

人とつながり、まちを元気にする

コミュニティナースとは「コミュニティナーシング」という看護の実践からヒントを得て 株式会社CNC様 が独自に提唱・普及してきたコンセプトです。※



※1

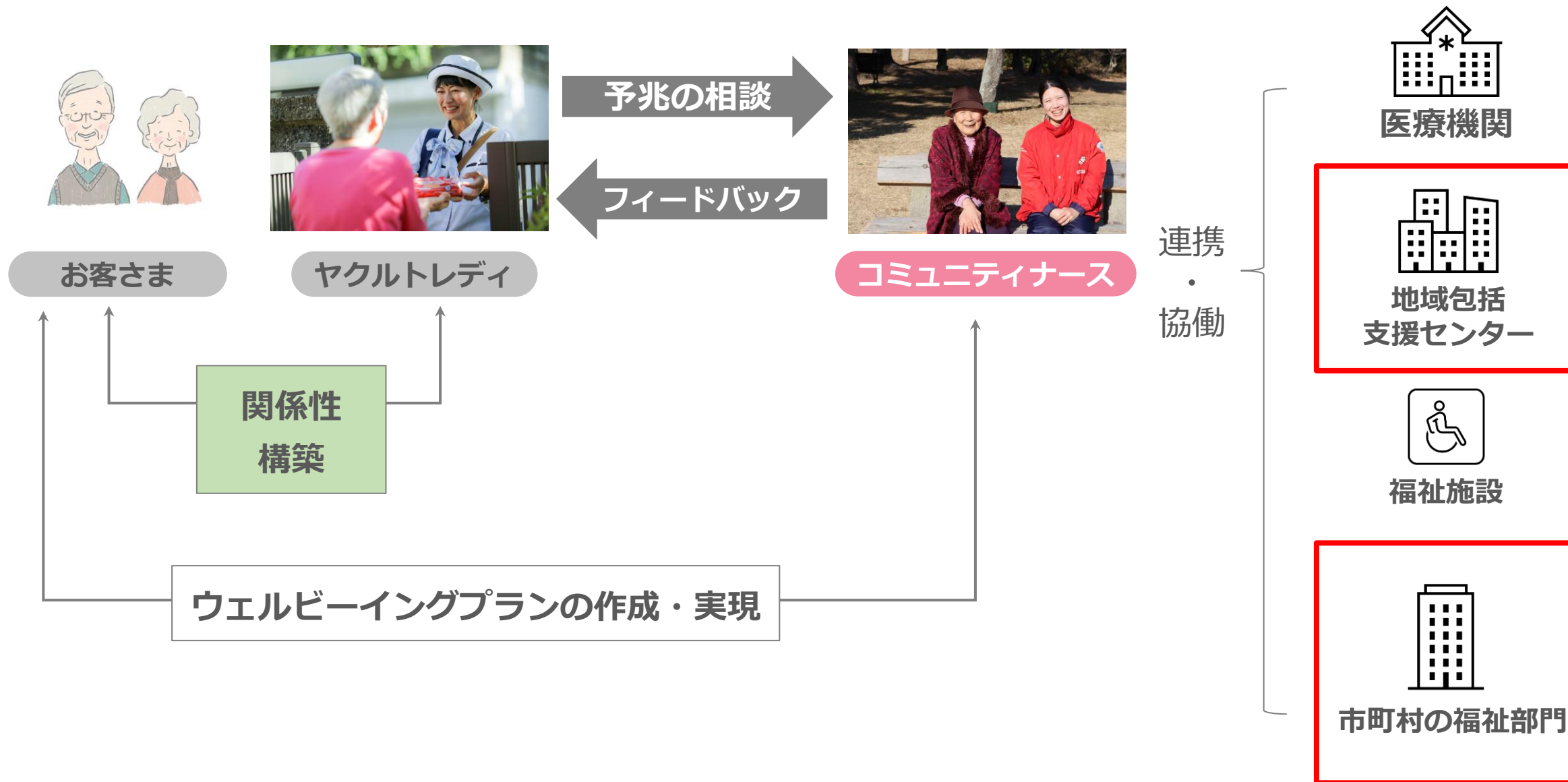
株式会社CNC

代表取締役 矢田 明子

所在地：島根県雲南市木次町木次29

設立：2017年3月31日

「ヤクルトレディ×コミュニティナース」モデル



「兵庫ヤクルト×コミュニティナース」

2024年11月に神戸市で
「**看護師・保健師**」の人材を採用

地域住民の健康を地域全体で支える「新しい共助モデル」として、コミュニティナースの社会実装を**明石市の一部**から開始

誰もが安心して健やかに暮らせる
ウェルビーイングなまちづくりのモデル
となることを目指す



▲弊社コミュニティナース（左）

「ヤクルト×コミュニティナース」事例①

2024年12月。ある営業所のヤクルトレディからコミュニティナースへお客様についての連絡・相談が。

そのお客様は80代。下半身に強い痛みを抱えており、とても苦しんでいた。

そして、「もう生きていたくない」というような言葉を漏らすほどで、心も深く傷ついている様子。

その話を聞いて、コミュニティナースがすぐに状況を確認。

すると、**主治医との関係性（人間関係）に課題**があることが判明。

現在は、コミュニティナースがお客様と一緒に主治医を訪問し、両者の関係改善を図るための支援を開始。

「ヤクルト×コミュニティナース」事例②

2025年1月22日、28日 サロン開催@明石市



1月28日、22日、時のまちあかしステーションにて、
ヤクルトマルシェ（健康教室）×「コミュニティナース」のコラボ サロンを開催



2025年3月12日
Business Insider Japan
「Beyond Sustainability 2025」
【Social Impact部門】受賞

Yakult

兵庫ヤクルト

ご清聴ありがとうございました